「やらせ」の北電―その会長が北大経営協議会委員！！
佐伯学長は北電会長を即刻、解任せよ！！

北電の「やらせ」、北海道の歴史に重大な汚点

2011 年８月 26 日、北海道電力（株）（以下、北電）の原子力部長らが記者会見を行い、いわゆる「やらせ」の事実を認めました。そのあとメディアが連日のように新たな事実を報道しましたが、それと並行して北電自身が第三者委員会を設置し、同委員会による調査が重ねられてきました。そして同委員会が 10 月 14 日に記者会見を行って調査結果を公表したところ、北電の「やらせ」は道民の予想をはるかに超えて広く、深いものでした。「やらせ」という北電の反社会的行為は、北海道の歴史に重大な汚点として刻まれるでしょう。

社長は早くも幕引きの様子

その後の 10 月 17 日、「やらせ」問題発覚ののち逃げ回っていた北電の社長が初めて記者会見に応じました。ただし、第三者委員会の結論を全面的に認めたものの、「やらせ」の責任を部下になすりつけ、自分と会長らを超甘い処分にとどめて事件の幕引きを図ろうとする会見内容でした。こんなことで道民世論が納得しないのは火を見るより明らかであり、今後、社長、会長ら北電幹部の責任は道民からさらに厳しく追及されるでしょう。

北電会長＝北大経営協議会委員、組合は佐伯学長に解任要求を提出

ところで北大の皆さん、反社会的行為を行った北電の会長が、北大の経営協議会委員の一人に名を連ねているのをご存じですか。正義と真実を最大の理念に位置づけて教育、研究が行われるべき大学の最高スタッフに、「やらせ」の北電会長が居座っているのですから、この状態は大学の理念と全く矛盾します。そこで**北大教職員組合は佐伯学長に 2011 年8月 30 日、9月 27 日そして 10 月 19 日と3回にわたり文書を提出**して、いずれも北電会長を即刻、解任するよう要求しました（裏面に 10 月 19 日の第３回要求書を掲載）。

何の反応も示さない佐伯学長

しかし学長は、今に至るも何らの反応も示していません。それどころか、９月８日に北大職組の責任者４人が学長に面会したさい、組合側がこの問題を指摘するや、学長は、「経営協議会委員を選ぶのは実質的には自分ではない。それが民主主義だ」という趣旨の、手続き論にすり替えた発言をしました。この発言は、学長による経営協議会委員の任命を定めた国立大学法人法第 20 条に学長自身が実は全く無知であることを物語っています。また、北電の行為をよそ事のように見る学長の態度は、北電に厳しい批判の目を向ける道民感情とかけ離れていて、社会の動きに鈍感すぎます。

自らの法律違反行為を不問に付す姿勢と同じ

そもそも 2009 年北大不当労働行為事件について、北大の行為が労働組合法に違反すると北海道労働委員会から断罪された事態を受けて、北大職組は学長に対し、学長自身や担当理事らを処分するようたびたび要求しましたが、学長はただ漫然と時の過ぎゆくのにまかせるだけでした。かくも歴然たる法律違反の事実にほお被りをする学長ですから、今回の北電の「やらせ」行為も不問に付すつもりかも知れません。

即刻、解任を改めて要求する

10 月 15 日づけ北海道新聞は、北電の一連の「やらせ」が「建設業の談合や相撲の八百長に通じる」との北大教授の談話を紹介しています。恥も外聞もなくこのような行為を行った企業のトップを経営協議会委員からきっぱりと解任することは、大学の社会的責務です。北大職組はここに、北電会長を北大経営協議会委員から即刻、解任するよう、改めて学長に要求します。

北電会長＝公益企業のトップが高橋知事に政治献金

なお北電会長は、他の北電役員とともに高橋はるみ知事に個人献金を重ねてきました。この事実は、すでに９月初旬に新聞紙上で公表されています。公益企業の経営陣が特定の政治家に献金するのは、公益企業に課せられた社会的使命に著しく反します。しかも 10 月 14 日の第三者委員会発表によると「やらせ」事件には北海道が関与しているので、知事と北電のあいだに癒着構造が形づくられていたことになります。北電会長を即刻解任しないと、北大がその癒着構造について見て見ぬふりをすることになり、これまた重大な問題です。

2011 年 10 月 21 日

北海道大学教職員組合　〒060-0811　札幌市北区北 11 条西 6 丁目 北海道大学内　TEL./FAX.011-746-0967

mail:kumiai@ma4.seikyou.ne.jp　http://ha4.seikyou.ne.jp/home/kumiai/